

支部のトピックス（中部支部）

【令和2年度 第30回業務技術発表会】

- ・開催日 令和2年10月14日（水）
- ・会場 愛知産業労働センター（ウインクあいち）
- ・概要 会員企業の皆様から応募いただいた発表論文について、厳正な審査の結果、論文計35稿（発表論文：19編、掲載論文：16編）を選出しました。

今年度の発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から聴講者を募集せず、発表者、審査員及び事務局のみでの開催となりましたが、会員企業、発注者等には予め、YouTubeにて動画視聴を案内し実施しました。



※建設通信新聞

【支部役員と若手の会・女性の会との意見交換会】

- ・開催日 令和3年1月6日（水）
- ・会場 ANA クラウンプラザホテル
- ・概要 支部役員と若手の会、女性の会との意思疎通を高めて、二つの会の活動の支援と活性化を推進するため、今後、定期的を実施することを決定し、初の意見交換会を実施しました。当日は、両会からの活動報告、支部役員から支部活動のトピックスを説明、来年度以降の活動に向けた提案・意見交換を実施しました。



【学生交流ひろば】～ 9回目 ～ 「建設技術フェア2020 in 中部」

- ・日時 令和2年10月14日（水）～15日（木）
- ・場所 名古屋市中企業振興会館吹上ホール
- ・概要 建設技術フェアは、産官学の技術交流の場として技術開発や新技術導入の促進を図り、建設分野を専攻している学生や学校関係者との交流を目的として実施され、平成24年から「学生交流ひろば」も合わせて開催しています。



パネル展示等による建設コンサルタントの紹介や学生への個別相談にも応じ、仕事内容などきめ細かい情報を提供し、業界の情報発信と理解度を高める機会としています。コロナ禍の中、144名の学生に立ち寄っていただきました。

【建設コンサルタントフェア2020in 中部の開催】（13回目の開催）

- ・開催概要 令和2年10月31日（土）名古屋都市センター まちづくり広場で開催。同時開催のカルチャーセミナーでは、『戦国の城郭から近世の城郭へ』と題して中井滋賀県立大学人間文化学部教授にご講演いただきました。

支部のトピックス（中国支部）

◆中国支部設立 50 周年記念事業

建設コンサルタンツ協会中国支部は、1970 年 5 月に 12 社が集まり中国四国支部として発足し、1985 年の四国支部分離独立を経て中国支部となり、今日 50 周年を迎えることとなりました。30 周年を迎えるころには最大 89 社あった会員数は、40 周年を迎えた前後の冬の時代に減少をたどり、ここ 10 年間は 50 社前後（2020 年：51 社）で推移しています。

本記念事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、記念講演会並びに記念式典は開催自体も一時危ぶまれましたが、皆様のご協力により令和 2 年 10 月 23 日に無事開催されました。

1. 「設立 50 周年記念講演会」（写真-①）

講師の名古屋大学減災連携研究センター長 福和伸夫教授による「巨大災害を前に災禍の歴史に学び現代社会を見直す ～本音で語り 本質を見抜き 本気で実践～」の演題で、切迫する巨大地震や強大化する風水害に備え、あらゆる人たちが力を結集して徹底した事前対策を進める必要があること、そして、これらの活動を実践するための建設コンサルタントの役割について、貴重なご示唆をいただきました。

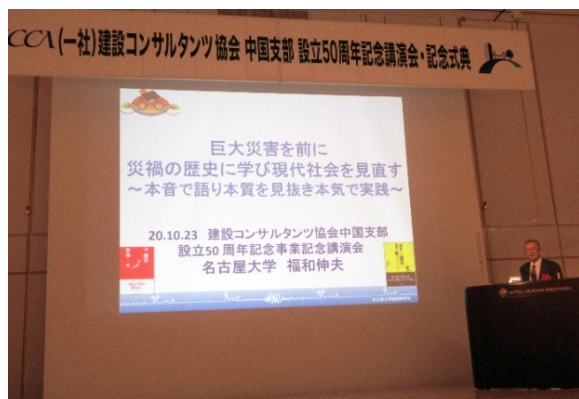


写真-① 「設立 50 周年記念講演会」の様子

2. 「設立 50 周年記念式典・祝賀会」

式典では小田支部長の式辞、来賓の建設コンサルタンツ協会高野会長、続いて国土交通省小平中国整備局長からの祝辞をいただきました。

その後の祝賀会では、アトラクションとして「鏡割り」（写真-②）を行い、会場の皆様にはマスク着用のまま乾杯いただきました。



写真-② 「設立 50 周年記念式典・祝賀会の一コマ

3. 「社会インフラ写真コンテスト」

「50 年後の未来に残したい中国 5 県内の社会インフラ」をテーマに作品を一般公募し、全国からの 180 応募作品の中から第一次審査により 9 作品を選考し、第 2 次審査は記念事業の来場者による投票結果を参考に、委員会によって最優秀賞 1（写真-③）、優秀賞 3、特別賞 5 の作品を決定し、賞状並びに賞品を贈呈しました。



写真-③ 広島の新たなシンボル『夜の太田川大橋』

4. 「設立 50 周年記念合併号」の発刊

中国支部設立 50 周年記念事業の一環として、毎年発刊する JCCA 中国と記念号との合併号を発刊しました。記念号の内容としては、①10 年間の支部会員の活躍②10 年間の部会活動報告③「社会インフラコンテスト」④記念事業関係を取りまとめました。

次の節目となる設立 60 周年に向けて、中国地方の人々の安心・安全で快適な生活を支える建設コンサルタントとして、地域社会の期待に応えることを決意した 50 周年記念事業となりました。